

# 簡易型の緊急シャワー

## 蒲田工業 工場への後付け容易

クリーンルームの施工に比べて6割安い。半導体工場や食品メーカ（東京・港、蒲田善明社）などの災害対策に、工場内で化学薬品を素早く洗い流す緊急用シャワーブースで、配水管工事が必要な簡易施工型を開発し、販売を始めた。写真。工場内に後付けでき、価格も1台80万円強と一般的なシャワー



工場新設・増設時に設置するのが一般的だった。開発したシャワーブースは高さ250センチ、幅85センチ、奥行き88センチ。ブースの天井部にある配管と既存の水道管をつないで使う。ブース内の床に開いた排水口を工場内の有害物質専用の配水管につ

シャワーブースは地震時に使う。洗浄に化学薬品を使う半導体工場などで設置が義務付けられている。通常は配水管工事が必要ないで汚染水を処理する仕組みだ。大がかりな工事が不要で、設置は1時間済む。

シャワーは1分間に75リットル、ブース内に取り付

ける洗顔器も1.5リットル、有害物質を迅速に洗い流せる水量を確保した。緊急用シャワーの事実上の標準である米国工業団体のANSI（米国規格協会）の規格を満たしている。半透明の樹脂扉を採用し、使用者を外から確認できる。水道管がある場所なら設置可能。価格も200万円〜500万円かかる従来型より大幅に引き下げた。3年後に年間1億5000万円の売上高をめざす。半導体や食品メーカーなど緊急用のシャワー設備を備える工場は全国に3000カ所程度。各工場には2〜5台のシャワー設備が設置され、新規の設置や取り換え需要は年間50〜200台ほどあるとみられる。蒲田工業は殺菌に化学薬品を使う食品メーカーやアスベストを除去する工事現場にも売り込む。放射性物質を洗い流す用途として、原子力発電所などでの利用も想定する。同社は1921年の創業で2010年9月期の売上高は29億円。

日経電子版

<http://www.nikkei.com/>

お問い合わせ (7:00~21:00)

☎ 0120-24-2146